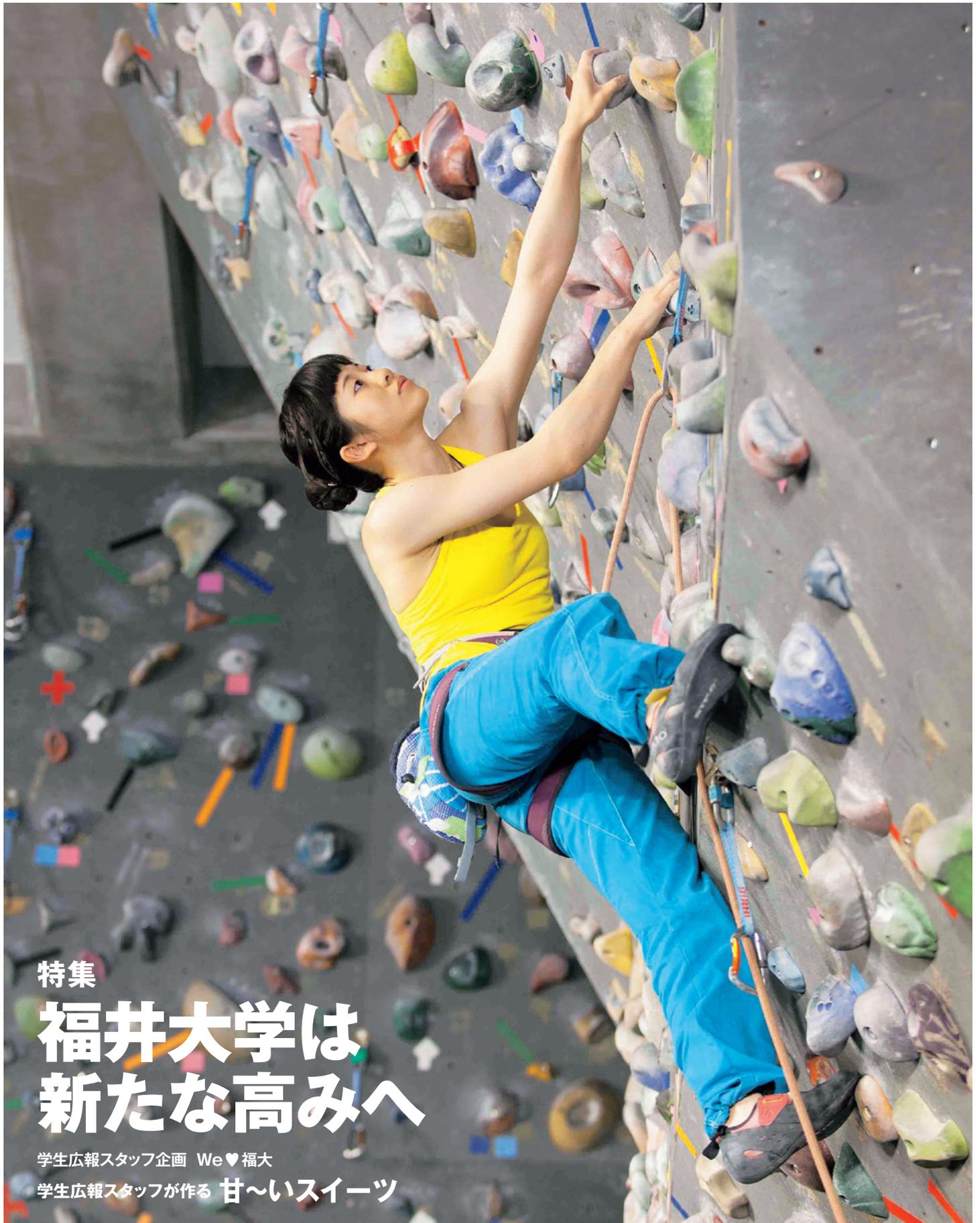


福井大学生のための / ふくだいプレス

創造力、実践力。
国立大学法人
福井大学

VOL.24
2016 JANUARY



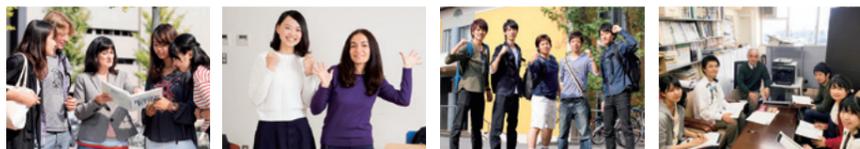
特集

福井大学は 新たな高みへ

学生広報スタッフ企画 We♥福大

学生広報スタッフが作る 甘〜いスイーツ

Contents



2 福大生がお題に答える
福大生ナウ

4 特集 福井大学は新たな高みへ

国際地域学部 新設
工学部 新5学科へ

学長メッセージ 多文化理解、多文化共生に向けた福井大学の挑戦

9 世界にイノベーションを
研究者紹介

12 がんばる学生を紹介
FACE

14 部・サークルを紹介する
It's My Circle

16 就活応援情報
福大生の就活ノート

18 卒業生から在学生の皆さんへ受け継がれる
学びのバトン

19 Global IMAGINEERへの道をサポート
go go global!

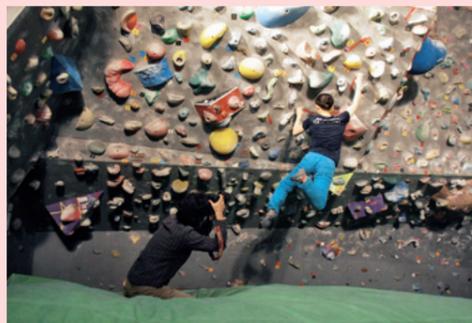
20 学生広報スタッフが企画
We♥福大

22 大学の最新情報をお届け
福大Topics

23 福井大学基金 寄附者ご芳名

24 次号特集のお知らせ

表紙について



教育地域科学部地域科学課程2年の廣重幸紀さんは、昨年10月17、18日に中国江蘇省で開かれた「IFSC クライミング・ワールドカップ2015」の第6戦、中国・吴江大会に日本代表として出場するなど、戦いの舞台は世界にあります。スポーツクライミングは2020年東京オリンピックの追加種目として提案されることが決定し、福大初のオリンピック選手へと、期待は一層高まります。一步、一步さらなる高みへ!

お題に対し、福大生に答えてもらうコーナー!

福大生ナウ

今号のテーマ
あなたの
冬の乗り越え方を教えて!

福井は全国でも有数の豪雪地帯。雪の季節の楽しみを見つけて、長い冬をポジティブに乗り越えましょう! ハロウィンでノリノリの留学生にも聞いてみました!



工)機械工学専攻1年 コウ・エン

火鍋を食べる



(右)工)機械工学科3年 加藤大輝
(左)教)教育学研究科1年 関あかね

家にいるだけ

コタツで過ごす



(後列左から時計回りに)
医)看護学科1年 佐々木百佳 岩佐恵里 嶋田千夏 佐々木望佑
宮口由見子 吉村真由子 小林真子

こたつLOVE♡



鍋料理を食べる♡

スノーボードを上達させる!

(左)教)教育学研究科2年 宇野円香
(右)工)材料開発工学科2年 壁谷颯



(左)教)学校教育課程2年 伊藤瑛里
(右)教)地域科学課程4年 ジョン・ジャリン

お希図のなかで過ごす

雪だるまを作る



(後列左から時計まわりに)
医)医学科1年 岸本直樹
チェンマイ大学医学部3年 ヒム/ブルーノマイ

かまくらづくり

筋トレをする

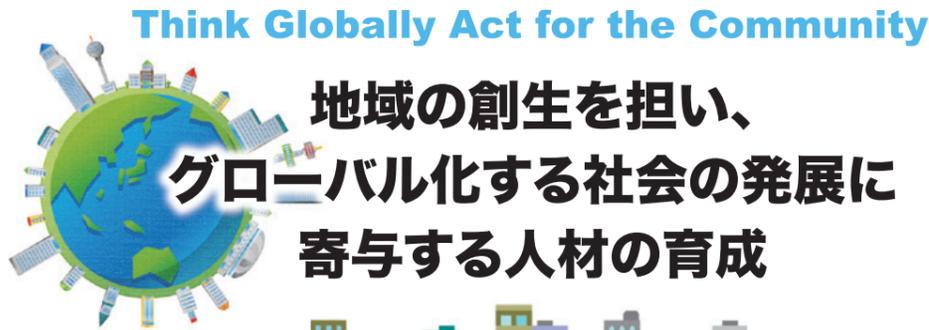
毛布にくるまって温まる

いっぱい笑う

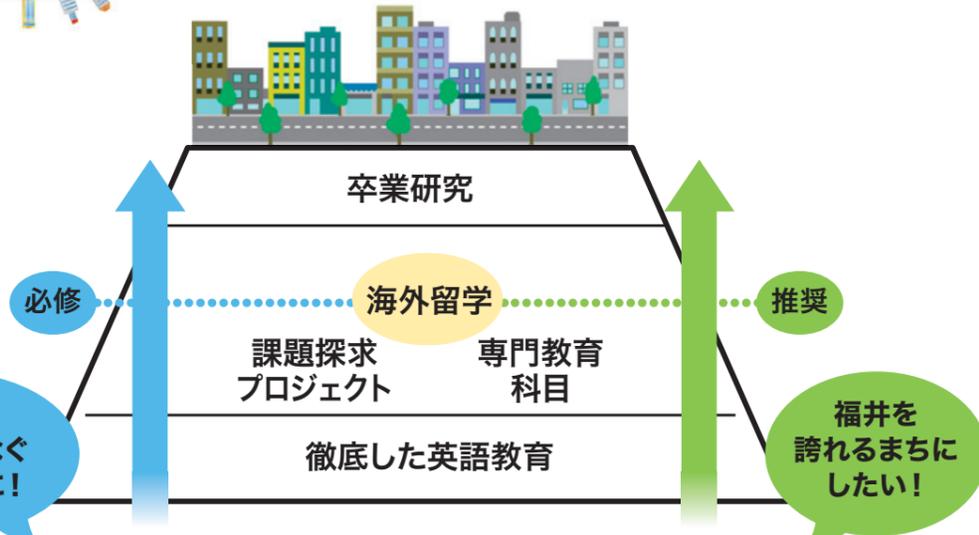


(後列左から時計まわりに)
チェンマイ大学医学部3年 ミューノアート
医)医学科4年 宇野谷翔太
チェンマイ大学医学部3年 モウ/ヒカリ

じっと春を待つ



地域の創生を担い、
グローバル化する社会の発展に
寄与する人材の育成



福井と世界をつなぐ
かけはしに!

福井を誇れるまちに
したい!

「グローバルアプローチ」と「地域創生アプローチ」の
2つの視点からの学び



2016年
4月

福井大学は 新たな高みへ

2016年4月、福井大学は教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部体制で新たなスタートを切ります。特に新設される国際地域学部、新5学科に再編される工学部をクローズアップします。

1 国際地域学部新設

入学定員
60名

世界を知り、地域を見つめる新機軸の教育を

グローバルが進む地域の課題の解決とそれを担う人材育成を、国際水準の教育で実践します。

学びの特色

1 グローバルに考える力を身につける

世界と地域を繋ぐ徹底した英語教育と海外留学を通じた異文化理解教育

2 地域の課題と向き合う4年間

地域の企業・自治体等と連携した地域密着型課題探求プロジェクト

3 文系・理系を超えた多様な学び

医学部・工学部との連携による幅広い学識を培う文理融合型教育

YouTube でも見られます!

国際地域学部 CM 放映中!

撮影風景

たくさんのご協力をいただき、ありがとうございます!

A 国際地域学部には、全員に留学を勧めますが、交換留学という形のため、海外大学から留学生が福井大学に来ることとなり、国際色豊かな学生が増えます。ぜひ積極的に交流してほしいと思います。また、留学提携校を増やすため、留学しやすくなります。

Q 地域科学課程は、どうなるの?

A 皆さんが卒業するまで、地域科学課程としての教育はきちんと継続されます。加えて、新しい学部の教育を受ける機会を増やしていきたいと思っています。

A 国際地域学部生には、全員に留学を勧めますが、交換留学という形のため、海外大学から留学生が福井大学に来ることとなり、国際色豊かな学生が増えます。ぜひ積極的に交流してほしいと思います。また、留学提携校を増やすため、留学しやすくなります。

Q 在学生の私たちに何かメリットはあるの?

A 国際地域学部は、地域と密着した教育を重視しています。地域と密着した教育を通じて、地域課題の解決に貢献できる人材を育成するために学部を新設することとなりました。

A なぜ今、国際地域学部を新設するの?

Q 教員養成を主とする学部にならざるを得ない課程を全国的に廃止する方針が国から出されました。しかし、地域から人文社会系分野を存続してほしいとの強い要望もあり、全学的な機能強化を図る一環として、地域の創生を担い、グローバル化した社会に貢献できる人材を育成するために学部を新設することとなりました。

副学長 寺岡英男
(国際地域学部長就任予定)

2 工学部新5学科へ

安全・安心社会の創造のための
モノづくり、コトづくり、ヒトづくり



| 機械工学科 | 電気・電子工学科 | 情報・メディア工学科 | 建築建設工学科 | 材料開発工学科 | 生物応用化学科 | 物理工学科 | 知能システム工学科 |
|---|--|--|---|--|---------|-------|-----------|
| 機械・システム工学科 安全・安心な社会の創造および革新的なものづくりに貢献できる技術者 ●機械工学コース ●ロボティクスコース ●原子力安全工学コース★ | 電気電子情報工学科 持続可能な低炭素社会や安全・安心な情報社会という未来社会の基盤を築く技術者 ●電子物性工学コース ●電気通信システム工学コース ●情報全工学コース | 建築・都市環境工学科 安全・安心な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある技術者 ●建築学コース ●都市環境工学コース | 物質・生命化学科 安全・安心で持続可能な社会の創造に貢献する実践的的化学系技術者 ●繊維・機能性材料工学コース★ ●物質化学コース ●バイオ・応用医学コース | 応用物理学科 物理の世界を探索し、次世代の技術発展へとつなげる技術者 | | | |

さらなる
飛躍のために
社会が求める「幅広い専門知識」を持った専門技術者を養成するため、複数の専門分野を1学科に集約しました。在学生の皆さんには直接的な影響はありませんが、皆さんの努力・成果が踏まえた上で、福井大学がさらに飛躍するための「発展的再編」であると理解してください。



工学研究科長・工学部長
小野田 信春

分野横断型で学び、柔軟で幅広い視野を持ったグローバルイマジニアへ

副専攻の「繊維」「原子力」が学科のコースに!

★**繊維・機能性材料工学コース**
 繊維や機能性材料の特徴を学び、ものづくりに活かす知識と技術を身につけ、新しい材料開発にアプローチします。

★**原子力安全工学コース**
 原子力エネルギーと放射線の基礎が学べます。原子力産業だけでなく、他の産業でも通用する最新の工学技術に関する知識を身につけることができます。

美術鑑賞は異文化理解のパスポート

美術鑑賞は取っつきにくい？

みなさんは美術館や美術鑑賞と聞くようなイメージを持っているのでしょうか。よく分からないので面白くない、敷居が高いと敬遠する方もいるかと思いますが、でもそれは鑑賞の仕方がわからず、美術と出合うきっかけを逃してきたからかもしれません。

私は、鑑賞学習の場所が、様々な人の出合いや、教育の可能性を探る一番の場と考え、研究をしています。授業などで子どもの作品に触れたとき、その子にしか見えない世界があることに気づき、美術科教育の可能性が広がるのではないかと思ったのが鑑賞学習に注目した理由です。

私を取り組む鑑賞学習は、子どもが一人で作品を観て、感想を書いたり発表



教育地域科学部 芸術・保健体育教育講座

濱口 由美 先生
Yumi Hamaguchi



鑑賞学習の様子

したりするだけではなく、なぜそう感じたかクラスで意見を教室に貼りだして共有し、他人の意見に触発されて変化した視点でもう一度、感想を発表します。時には作者に作品をなぜ作り、何を表し、どんな想いを込めたか話してもらい、意見交換することもあります。作品を一人で見たり、作者の話や聞くだけの一方的な場ではなく、絵との「対

話を通して見る視点が変わり、触発され刺激される場になります。こうした対話型鑑賞学習は、答えのないものに向き合う、問い続ける姿勢を協働的に育む場にもなると期待しています。現在では、美術館と学校と一緒に、社会教育の立場から鑑賞学習の意味を模索する取り組みが全国で展開されるようになりました。

教員が元気になる

鑑賞学習の実践の中で教員も元気がなくなったように感じています。子どもや他者のものの見方や表現に寄り添うことで、「教える」から「他者や子どもを介して教員自身も考えよう」という意識が高まりました。他者の表現を受け止めることで、教員としての仕事の意義や実践の目的、目標も見つけられ、誇りが生まれるからだと思います。

たとえば、「音のかくれんぼ」と題した鑑賞活動では、美術館の絵の中からどんな音が聞こえてくるか文章で表現する取り組みをしました。星の門」という絵から「ういっガチャういっガチャ」とマツチ工場の音を聞いた子どもがいたり、絵との「対話」から思いも寄らないオノマトペ（擬音語・擬態語）が生まれます。それがマネされて広がったりし、作品と子ども、子ども同士が繋がって一人では見えないことに気付いていくなど、教員として、美術を通じた交流が面白くなっていくのを見守れることも醍醐味です。

見る力を身につける

美術教員を目指す学生には、異文化理解の方法や意味を探究する、鑑賞プロジェクトに取り組んでもらっています。学生の働きかけで、子どもたちが作品への気付きを広げ、美術作品の中に込められた作者の価値観など、「異文化」の発見や接触を助ける取り組みです。学生にとって、時には子どもたちの反応に戸惑いを感じながらも、意見を受け止め、探究し続ける取り組みは、子どもという「異文化」とも向き合う場になります。鑑賞学習は、作者の世界に入るパスポートやコンパスとなり、美術を通して他者に繋がるすることができます。学生の中に、いろんな経験から価値あるものを出し出す、省察を続けて、価値あるもの、美しいものを見る力を身につけ、美術と出合うことを目指しています。

今ハマっていること★



旅館で育ったからか、各地のゲストハウスに泊まるのが好きです。将来は自分でも開設し、美術を通じた交流の場になったら良いなと思っています。

学長メッセージ

多文化理解、多文化共生に向けた福井大学の挑戦

学長 眞弓 光文



日本人学生と留学生のより積極的な交流を期待します

福井大学は、平成28年度から、「教育」「医」「工」「国際地域」の4学部からなる、総合大学としての機能を一層強化した体制で、新たに出発します。教育学部は、現在の教育地域科学部から地域科学課程を除いた、教員養成により重点を置いた学部です。地域科学課程は、グローバル社会で活躍できる人材育成を推進する国際地域学部に、発展的に改組します。工学部も、より統合的に工学を学べるよう、現在の8学科から5学科に再編するとともに、「ファイバー（繊維機能性材料）」「原子力」「ロボティクス」などを学べる体制をつくります。医学部では臨床実習を重視した国際標準の教育を進めます。

これらの改革に共通するキーワードはグローバル化です。福井大学は今後、国際標準の教育を推進してさらに多くの留学生を迎え、また、日本人学生が世界に出て行くことに力を注ぐなど、大学のグローバル化を進め、地域のグローバル化を牽引します。

わが国は明治以来、さまざまな分野で欧米の進歩を取り入れ、アジア諸国の先頭を走ってききましたが、英語力など、いつの間にか他のアジア諸国の後塵を拝する領域が出てきました。もとより、日本文化と日本語の重要性はいうまでもありませんが、同時に、グローバル化の進む現代社会においては、多文化理解、多文化共生が極めて重要であり、そのためには、世界の共通の言語である英語力を高め、世界の多様性を理解できる力をつけることが必要となります。

学生の皆さんには、多文化理解、多文化共生の重要性を認識し、日本人学生と留学生がより積極的に交流するなど、皆さんの周りにおける機会を有効に活用していただくことを願います。学生の皆さんと一緒に、素晴らしいグローバルキャンパスをつくっていききたいと思えます。

2016年4月、福井大学は教育学部、医学部、工学部、国際地域学部4学部でのグローバルキャンパスへ

観客の視点に立った映像技術で 新感覚のスポーツ観戦をめざす

映像をもっと楽しむ方法

スマートフォンで動画撮影をしたり、誰かが撮影した動画を投稿サイトで見たりと、映像がとて身近になっていきます。でも、自分一人で撮影できる範囲は限られていますし、タイミングを逃すことがあるかもしれません。いっそのこと、みんなで動画を同時に撮影し、一つの映像にできたなら、素晴らしいコンテンツになると思いませんか？

サッカーやバスケットボールなどのスポーツ中継では、複数台のカメラが同時にプレーを追い、メインスタンドから、あるいはサポーターサイドからと画面を切り替えています。もし、好きな選手だけをさまざまな角度から立体的に見ることができたら、スタジアムにいる以上の臨場感が楽しめるはずですよ。

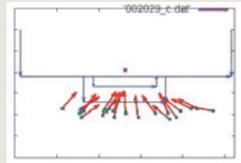


大学院工学研究科 情報・メディア工学専攻
東海 彰吾 先生
Shogo Tokai

私はサッカーなどのスポーツを観戦する「観客の視線」で撮った動画を利用して、立体映像やパノラマ映像にする手法を研究しています。

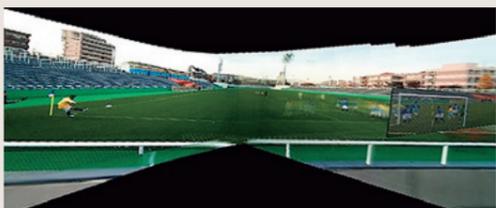
観客の注目度を知る

異なる位置から撮影した映像を単純に合成しても、思いどおりの結果は得られません。カメラと被写体の距離、注目する点が異なるからです。レーザーや位置センサーを使い、被写体の距離を計測し、撮影者一人ひとりの注視点を統合するデータの処理が必要です。また、同時に撮影しても、機材の画像処理



観客の注視点のマッピング

異なる位置から撮影した映像を単純に合成しても、思いどおりの結果は得られません。カメラと被写体の距離、注目する点が異なるからです。レーザーや位置センサーを使い、被写体の距離を計測し、撮影者一人ひとりの注視点を統合するデータの処理が必要です。また、同時に撮影しても、機材の画像処理



広範囲の画像を照合してできる広角ビュー

広がる映像の可能性

将来的には、自分のために撮った映像を一人で楽しむのではなく、同じサッカーの試合を見た人が、SNSなどのコミュニケーションサイトに動画をアップロードし、試合会場の静止画とみんあの動画を組み合わせ、観戦できなかった人にも会場の臨場感と試合の高揚感を味わってもらえるような映像技術

理速度などさまざまな時間の乱れが発生するので、このタイムラグも解消する必要があります。私たちの研究は、こうした処理を素早く、正確に実行するコンピュータプログラムの開発にあります。多くの視点からの映像を違和感なく楽しめるようになるには、あらゆる画像をうまく照合するためのアルゴリズムの形成が必須です。



今ハマっていること★

昔から音楽が好きで、アコギにずっとハマっています。最近は弾く時間が少なくて欲求不満気味です。



スタジアムの観客や選手の視点から自由に観戦が楽しめる

へと進化させ、今までにない新感覚のパブリックビューイングが実現できればと考えています。

白血病患者さんから学び 今後に活かす研究を



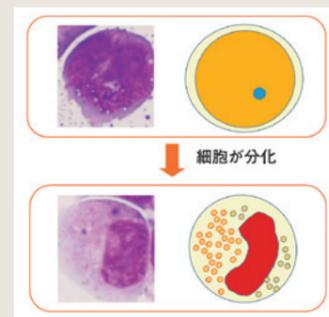
医学部内科学(1)領域
山内 高弘 先生
Takahiro Yamauchi

死に至ることも多い 血液のがん「白血病」

白血病は、テレビドラマなどで取り上げられたり、芸能人の方が骨髄移植を受けるなど、話題になったこともあり、聞いたことがある人は多いと思います。白血病は血液のがんで、何かのきっかけで遺伝子が異常を起こし、骨髄で血液細胞である赤血球、血小板、白血球が作られる過程で、がん化します。がん化した細胞(白血病細胞)は、骨髄内で増殖し、正常な血液細胞が減少することで、貧血、免疫力の低下、出血などの症状が現れます。発症の平均年齢は60歳くらいで、発症年齢が65歳以下では、5年生存率が4〜5割、65歳以上になると1〜2割と完治が難しい病気です。

現場で得た経験から 病気のメカニズムに迫る

研究では、白血病の患者さんに化学療法を行う際の薬の種類や投与量、期間、回数などをがん細胞内での薬理作用から検討します。遺伝子の異常原因がはっきりしている白血病では、分子標的薬と呼ばれる遺伝子に直接働き



抗がん剤によって白血病がん細胞の遺伝子発現異常が修復され、分化・アポトーシス死が誘導された

患者さんと向き合いながら 研究を

私は福井医科大学の出身で、5年生の臨床実習中に、前教授で副学長の上田孝典先生の御指導に感銘を受け、第

今ハマっていること★

膨大な仕事のぬかるみにハマっています。学生時代は、開学当初からあった伝統空手道部と合唱部に所属し、現在はその両方の顧問を仰せつかっています。最近医学部のクラブ活動は大変盛んです。部活を通じて母校愛を育み、卒業後本学に残る学生が増えてくれると願っています。



「潜水」をテーマに 水中の輝きをLEDで表現

キャンパスイルミネーション2015 灯りプロジェクト

昨年のキャンパスイルミネーションは「潜水」をテーマに開催されました。「Calm」「dynamic」「cute」の3つのコンセプト制作チーム、「Sensor」「Projection」「rapport」の2つの工学的なチーム、総勢47人で取り組みました。水の中の静けさや輝きをLEDで表現し、水の中にLEDを入れ、水面の揺らぎを写し出すなど神秘的な世界を創り上げました。

また、メンバーは福井県立東養護学校の依頼に応え、11月13日に「キャンパスイルミネーション2015をもう一度」と題し、学校の体育館でイルミネーションのミニチュア版を出前披露しました。児童・生



Campus Illumination2015のメンバー

徒らの「3.2.1」のカウントダウンで点灯されると、「わあ」と歓声が上がりました。軽快なリズムに合わせて次々と動くカラフルなプロジェクションマッピングに釘づけになり、生徒たちは「ブルーのライトがすごくきれい」とイルミネーションの世界に浸っていました。キャンパスイルミネーションは毎年、工学部建築建設工学科・明石研究室のメンバーを中心に他学部の学生とともに制作しています。



東養護学校でのイルミネーション

明治時代に变化した 日本の「ことば」を探る！

博物館学実習で体験型の展示企画

教育地域科学部の授業「博物館学実習」を受講する地域科学課程4年の鈴木涼平さん、前田さつきさん、藤田絵莉香さん、児玉幸司さんが、「かきく計ことばの文明開化」と題して、福井市立郷土歴史博物館で開催された特別展「大名華族たちの明治」に合わせて、関連展示を同博物館で行いました。

明治時代、日本の「ことば」は外国文化の影響を受けて大きく変化しました。展示では、当時の日本人たちはどのような「ことば」を使っていたのか、日本語の中に溶け込んでいった外国語を、趣向を凝らして紹介。会話形式で当時の様子を伝えるポスターや、カタカナで書かれた外国の言葉が何かを当てるクイズ、有名な俳句を流し語で読んだらど



来場者に展示の説明をするメンバー

うなるかなど、体験型の展示を行い、子どもから大人まで楽しめるよう制作しました。特に変体仮名を「文字ずつカード」にして自分の名前に並べてみるコーナーは、大人でも難しく、漢字をくずしてできた文字に悪戦苦闘。学生の説明を受けながらいろいろな言葉に並べていました。

リーダーを務めた児玉さんは、「当時の人の会話形式にすることで、現代との違いが分かりやすくなるよう工夫しました。いろいろな人のアドバイスを受けて制作したことで、私たちの「趣味全開」の展示を楽しんでもらえたと思います。年配の人が変体仮名を習った話をしてくれたのも勉強になりました」と振り返っていました。



鈴木さん、前田さん、藤田さん、児玉さん

FACE

がんばる学生を紹介

※本頁に掲載されている方の所属、学年等は取材時のものです。

本学学生が日本代表として出場 男子3位、女子4位

2015アジアカヌーポロ選手権大会

昨年、10月23日〜25日に香港で開催された2015アジアカヌーポロ選手権大会に、日本代表として本学から鎌田訓史さん、池尻成範さん、谷口綾太郎さん、石田康祐さんの男子学生4名がU21代表、蔵本彩加さん、山本夏子さんの女子学生2名が女子代表として、それぞれ日本代表として出場しました。カナーポロは5人対5人で、36m×24mの水上コートを使い、相手ゴールにボールをシュートする競技です。水上の格闘技と呼ばれる激しい一面もあり、サッカーやバスケットボールと同じく、シュートが決まるのが最大の見せ場です。

U21代表は7チームでの予選を突破し、4チームでの決勝ラウンドに進出しましたが、惜しくも3位という結果でした。女子代表も6チームでの予選を突破



試合の様子

しましたが、表彰台には届かず4位に終わりました。次の世界カヌーポロ選手権大会の男子U21および女子代表の出場は難しいと見られていますが、日本代表に選出される可能性がある学生もおり、今後の活躍に期待です。

普段は本学のカヌー部や社会人のチームで活動していますが、外国の選手との試合は初めてというメンバーもあり、世界の厳しさに直面したそうです。男子U21代表として出場した鎌田訓史さんは、「世界と戦うのは今回が初めてで、体格の違いや漕ぎスピードの速さなど、世界の違いを実感しました。戦術を工夫するなどもっと頭を使わないと通用しないことなどを部活の後輩にも伝え、レベルアップに繋げたい」と語りました。



(左から) 鎌田、谷口、蔵本、山本、石田、池尻

子どもたちを取り巻く 問題の解決に向けて

医学部医学科4年 櫻井飛鳥さん

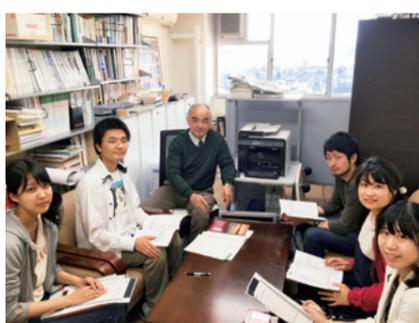
医学部医学科4年の櫻井飛鳥さんは、子どもたちの発達研究センターこころの形成発達研究部門の松崎秀夫教授の主宰する自閉症スペクトラムについて学ぶ「白熱！松崎教室」の代表を務めています。

中学生時代、仲の良かった友人が急に問題行動を起こすようになった背景に、家庭内の問題があったことがわかり、子どもの社会問題に関心を寄せるようになりました。いじめや不登校、子どもたちの問題は、学校現場や家族だけでは解決できないのではと考え、医学部に進学しました。

松崎教室は、基礎と臨床に分けて月に2回開催。基礎では、脳機能や神経細胞の仕組みを含め、自閉症研究について詳しく学び、臨床では、毎回一つの症例を取り上げてみんなで議論しています。加えて櫻井さんは、保健医療制度の施策を行う厚生労働省や刑務所を管理する法務省などの

セミナーを通して医療行政についても学び、また、児童相談所の子どものための交流や自閉症児の子どものためのキャンプでのふれあいを通じて当事者への理解を深めてきました。櫻井さんは「セミナーや勉強会では他の学生た

ちから大いに刺激を受け、子どもたちとの交流では毎回多くのことを学びます。将来どのような進路を選択するかはわかりませんが、まずは医学の勉強にしっかり取り組みながら自分ができることを見つけた」と、今後について話しています。



松崎教室には、他学部の学生も参加しています

白熱！松崎教室
[基礎] 1.22.Fri
[臨床] 1.21.Thu
自閉スペクトラムを学ぶ Let's study ASD: Autism Spectrum disorder
1年生・他学科生も大歓迎!!

このポスターが目印です

現在の登録数
 【文京】体育系49/文化系32
 【松岡】体育系23/文化系20

* It's My Circle

学内には体育系・文化系あわせて130近くの部・サークルがあり、福大生の半数以上が所属しています。
 超有名な!? サークルから意外と知られていないサークルまで、さまざまな部・サークルをご紹介します!

●『It's My Circle』に登場したいサークルのみなさんは広報室までご連絡ください。E-mail:sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

ぶちぶらは、地域医療に興味のある学生が集まった創部6年目の部活です。部員それぞれが楽しみながら地域医療についての理解を深めることはもちろん、医学部の学生や一般の人など、さまざまな人に、地域医療について知ってもらうことを目標に活動しています。

春と夏には、南越前町今庄で合宿を行い、最終日には、地域の人たちを招いてセミナーや座談会などを開催します。また、中学生を対象とした薬物乱用防止教室や医療職の紹介イベントにも参加。活動範囲は広がっています。

他大学の学生や地域の人と交流

部員は65名と大所帯なので、活動もそれぞれが参加できる範囲で行います。部長を務める医学科4年の谷口楓さんは「学内のみならず他大学の学生とも積極的に交流しています。これからは、外で学んできたことをサークル内で共有したり、地元永平寺町での活動にも力を入れていきます」と意欲的です。

学会に参加したり、地域の先生方とも面識の広がるぶちぶら。自らのキャリアを考える上で参考になりそう。医学部のみなさんは要チェックです!



地域と医療について考える

ぶちぶら

【活動日】 不定期
 【練習場所】 共用5または6または小講義室
 【部員数】 65名

ホームページ <http://fukuimedpuchipura.web.fc2.com/index.html>
 「福井 ぶちぶら」で検索♪



今庄中学校での薬物乱用教室



診療所での実習



今庄での合宿

部員募集中! 地域医療について、興味のある人なら誰でもオーケー!

ものづくりをトコトン楽しむ

からくり工房I.Sysは、「ロボット」と「ものづくり」が好きなメンバーで構成。ロボットを作る夢が叶うサークルです。

1周数十メートルの白線に沿って走るマシンを作る「ロボットレース」、小型のマシンが複雑な迷路を探索し、走行する「マイクロマウス」、タイヤで走る機体同士が鉄板の土俵の上でぶつかり合う「ロボット相撲」の3つの班に分かれて、設計・製作をしています。試行錯誤を繰り返しながら大会までにマシンを完成させ、地方大会や全国大会のロボットコンテストに出場しています。

昨年、11月20日に東京工芸大学で開催された第

36回全日本マイクロマウス大会2015では、知能システム工学科3年の岸本匠さんが「マイクロマウス ハーフサイズ 新人クラス」で優勝。伊藤儀宏さんが2位。ロボットレースでは、物理工学科3年の高柳智さんが6位入賞と、好成績を収めています。

「今までの大会の悔しい思いをバネに努力しました。大会で記録を更新したときは嬉しい」と、代表で知能システム工学科2年の山田真さん。

大会では他大学のロボット好きと技術交流をするそうです。「ものづくり」と「ロボット」が好きな人におすすめのサークルです。



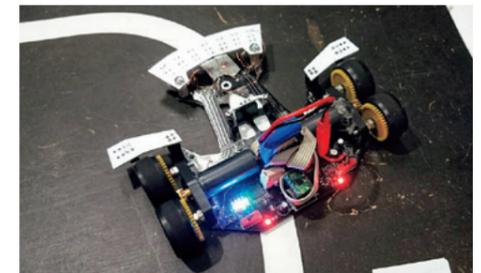
ロボット一筋、メカ軍団!

からくり工房I.Sys

【活動日】 平日 17:00~
 【練習場所】 サークル棟3階 共用8
 【部員数】 20名



マイクロマウス大会の様子



ロボットレース



ロボット相撲。重量は3キロ以内

部員募集中! ロボット好き集まれ!

No.
Date



採用担当者を直撃!

就活あれこれ Q&A

合同説明会ではなかなか聞けないようなことを採用担当者にズバリ質問! 採用担当者のホンネを教えてくださいました。

教)地域科学課程3年
高ヶ内剛志(左)
土本悟志(右)
工)材料開発工学科2年
内藤真八郎(中)



Q どんな雰囲気ですか?

A 上司と部下の関係があっても、なんでも思ったことを話せる、意見交換しやすい雰囲気があります。

Q どんな学部出身者を採用するのですか?

A 化学という社名から研究のイメージが強いと思いますが、メーカーですのでマーケティング、営業、生産技術、貿易、知的財産などの職種があり、理系だけでなく文系も含め幅広い活躍の場があります。

Q 英語など語学力は必要ですか?

A 必須ではありませんが、海外展開をしているので、語学力があることは望ましいことです。英会話学習(自己啓発)の補助をする制度もあり、会社に入ってから習得する社員もいます。比較的的時間のある学生時代のうちに習得しておくとうれしいと思います。

Q 研修や教育制度は?

A 職種に関係なく、工場での現場研修を通して、ものづくりの本質を学びます。新入社員には、模範社員であるブラザーが一人つき、社員育成を計画的に行い、早期即戦力人材になれるよう指導する制度があります。ブラザーがしっかりとサポートすることで、いち早く仕事や職場に馴染み、成長できる環境づくりをしています。

Q 地域での活動を教えてください

A 本社で「いこっさNICCA」というイベントを開催しています。これは近隣住民の方に当社を身近に感じていただくこと、安全や災害に対する備えを説明し、理解していただくことを目的としています。また、小学校などで化学の出前授業なども行っています。

就職支援の現場から

教員採用試験勉強会のお知らせ

教員をめざす学生の皆さんを対象とした勉強会を開催しています。

- 【日時】 毎週金曜日 13:00～15:00
- 【場所】 教育実践総合センター 1階プロジェクト室
- 【内容】 集団討論、論文演習、教職教養・教職法規 など
- 【申込】 福大キャリアサポートシステムから

※詳細は、就職支援室までお問い合わせください。



教員採用試験勉強会の様子

スタッフリレーコラム 第15回

委員長独言

教育地域科学部・教育学研究科就職委員会 委員長 塚本 充

6、7年ほど前にも1期だけ務めており、再登板になります。そのころの教員採用の状況はまさに「氷河期」であり、福井県での本学現役合格者は3名だけでした。最近では、附属教育実践総合センターとの連携により、教員採用試験対策として教採二次対策模擬面接などを実施して、成果も上がってきています。平成27年度実施の福井県教員採用試験は、現役で29名が合格しました。今後就職支援室とセンター、委員会が連携して、教員志望の皆さんを支援していきます。教採現役合格をめざして尽力ください。

また、平成28年度採用の企業就職に関わる日程の後ろ倒しによる就職活動期間の長期化、さらに平成29年度採用の日程の前倒しによる混乱が危惧されますが、就職支援室の皆さんや各学部の就職委員がサポートします。学生の皆さんが、希望の企業等に就職できることを願っています。

福大生の就活ノート

学生が企業・官庁の人事担当者へ、会社の魅力や特長、求める人物像などをインタビュー。学生生活を有意義に過ごすためのポイントが隠れているかもしれません。今回は日華化学の青木彰さんと今井貴史さんに学生3名が取材しました。

日華化学株式会社

所在地: 福井市文京4-23-1
社員数: 1,359名(国内568名)
事業内容: 繊維工業用界面活性剤、製紙、塗料、染料、合成樹脂用界面活性剤、化粧品、医薬品の開発・製造・販売

これからも、ずっと、輝く未来。
Activate Your Life
日華化学株式会社

繊維用界面活性剤で国内トップシェア

界面活性剤の開発・製造・販売を手がけています。主な取引先は繊維、自動車、電機、医療、美容などの企業で、いわゆるBtoB(法人相手のビジネス)です。海外8カ国に12拠点があります。

界面活性剤とは、水と油のように2つの異なる特性を持つ物質の境界面に働きかけ、その性質を変える薬剤のことです。「湿潤・浸透」「分散」「乳化」「起泡・消泡」「洗浄」の5つの作用があり、身近なところでは石鹸やシャンプーなどの洗剤、化粧品などの日用品に使われています。

創業以来のメイン事業である繊維加工用の界面活性剤で国内トップシェアを占めるほか、紙・パルプ、クリーニング、化粧品、衣料品など、さまざまな分野のお客さまに製品・技術を提供しています。

磨いた技術力でヒット商品も

「貴社の強みを教えてください。」
徹底した現場主義で、「製品を売らずして技術を売る」のが信条。70年培った技術力を強みに、お客さまの問題解

決・価値創造を第一に考えています。

最近では、美容院向けに開発したスタイリング剤「ウェーボデザインキューブ」の人氣が広まり、「ウェーボを使ってみよう」という学生さんも多いです。

昨年は、国際的スポーツ用品専門の見本市に出展、環境にやさしい非フッ素系の撥水剤を紹介したところ、大手アパレルメーカーとのコンタクトに成功しました。今後もより多くの発信を継続し、世界ナンバーワンの繊維加工用薬剤メーカーを目指していきます。

会社ではなく、自分を主体に

「どんな人材を求めていますか?」

当社の採用基準は、困難なテーマに直面しても、プラス思考を持って積極的に挑戦できる「何事にもひるまないチャレンジ精神を持つ人」「目標に向かって結果を出すチームワークを大切にできる人」、習得した基礎知識を自己啓発しながら専門知識へと深めていける「たゆまぬ向上心を持つ人」です。

「会社が自分に何をしてくれるのか」ではなく、「自分は会社で何をしたいのか」を考えられる人を求めます。こういった思考の人は成長も早いですね。

多様な価値観にふれてほしい

「福大生へのメッセージをお願いします。」
組織の中で円滑に仕事を進めるには、高いコミュニケーション能力が必要です。アルバイトやサークル、留学など、さまざまな経験を積み、幅広い年代、異なる職種の人と交流しましょう。多様な価値観にふれることは、今後の人生に大きなプラスとなります。



日華化学株式会社 人事総務部人事グループ主任 青木彰さん(右)、今井貴史さん(左)

※本頁に掲載されている方の所属は取材時のものです

go go global!

go go global では、毎回学生の皆さんが目指す「Global IMAGINEER」への道をサポートする情報をお届けします。
今回は福井大学で学ぶ外国人留学生と、彼らをサポートする「留学生サポーター」の活動を紹介します。

福井大学では、現在19ヶ国・175名の外国人留学生が学んでいます!

Welcome to UNIVERSITY OF FUKUI

2015年10月に52名の外国人留学生が入学しました。



2015年10月入学の外国人留学生

| | | |
|--|---------|-----|
| | アルメニア | 1名 |
| | インドネシア | 3名 |
| | カンボジア | 1名 |
| | 台湾 | 1名 |
| | 中国 | 39名 |
| | バングラデシュ | 2名 |
| | フィリピン | 1名 |
| | ミャンマー | 2名 |
| | リトアニア | 2名 |

合計52名

新入学留学生からのメッセージ

福井大学でたくさん友達を作っている人をおしゃべりしたいです。

教育地域科学部
CHUNG CHIA-LINGさん
【台湾】
(国立雲林科技大学・交換留学生)

- 1
- 2
- 3

日本語をたくさん勉強してペラペラになりたい!

日本料理を作れるようになりたい!

台湾では雪が降らないのでスキーや雪だるまづくりにチャレンジしてみたい!
CHUNG CHIA-LINGさん

アルメニアには海がないので、海でサーフィンしてみたい!
MARTIROSYAN MARINAさん

気軽に声をかけてください。

教育地域科学部
MARTIROSYAN MARINAさん
【アルメニア】
(日本語・日本文化研修留学生)

留学生サポーターに登録しませんか?

- ◆対象者 全学部/大学院研究科学生(外国人留学生を含む)で、日本語による業務が可能なる方。
- ◆活動内容 国際交流センター・国際課のイベント等(外国人留学生や日本人学生の海外留学促進に関するもの)のサポートがメイン。登録すると、随時活動案内が配信されますので、興味のある活動を選んで参加できます。
- ◆登録方法 各年度のはじめに説明会を行います。登録者は随時募集しています。登録手続きや詳細については、国際課まで! (文京:大学会館1F、松岡:管理棟1F松岡キャンパス学務室内)

留学生サポーターの声

留学生サポーターは、入学手続きやオリエンテーションで行う各種登録申請などの書類作りや、生活に必要な情報・道具を揃えるサポートをします。初めて来日し、福井大学で学ぶことになる留学生の「初めて」を手伝うことで、お互いに仲良くなり、友達の輪が広がるのがサポーターの魅力です。



工学部 生物応用化学科3年 木村悠希さん



人とのつながりで導かれた 専門への道

東京大学医科学研究所附属病院 関節外科 講師

ただひたすら
竹谷 英之さん

昭和61年度
福井医科大学医学部(現福井大学医学部)医学科 卒業



国立大学唯一の 研究所附属病院

東京大学医科学研究所は、1892年、北里柴三郎博士らによって設立された伝染病研究所を前身とし、1967年に、がん、その他の特定疾患を研究する医科学研究所に改組されました。現在は、東京大学附属の研究所として、感染・免疫、がん・細胞増殖、基礎医学の3部門とヒトゲノム解析、ヒト疾患モデル研究、先端医療研究の3センターと附属病院を持っています。私は、附属病院関節外科で整形外科医として、主に血友病性関節症の患者さんの治療に当たっています。

適切な治療が必要な 血友病性関節症

血友病は、血液凝固因子の活性が先天的に低い、または欠乏していることで、出血すると止血に時間がかかる病気で、関節内出血や皮下出血、脳内出血などあらゆる場所に自然と出血し、その出血が止まらなくなると、体に悪影響を与えます。患者数は、全国に6000人程度で、それほど多くはないですが、それ故に血友病性関節症の整形外科的治療とその必要性は広く認識されていないのが現状です。血友病の治療は、血液製剤(血液を固める凝固因子)を定期的に自己注射することで、血が止まらなくなるのを



歴史を感じさせる建物も残る東京大学医科学研究所

求められる仕事も専門に

大学には、2期生として入学したもので、先輩は、1学年上だけでした。まだ病院もなく、のんびりとした雰囲気の中で、徐々にキャンパスができていった感じでした。そんな中で行われた初めての大学祭「暁祭」で先輩たちと一緒に大学の模型を制作し、展示しました。整形外科を志したのも、仲の良い先輩がいたからです。



大学祭で展示した大学の模型の前に(前列左から2番目が竹谷さん)

私は、これ!という具体的な目標を自分で決め、そこに向かってきたというよりは、時々で出会ったものに向き合っていて、求められていることを感じていくうちに、専門になったという感じがします。流れに乗ったと言ってしまうかもしれませんが、節目節目で人とのつながりがきっかけとなり、自分の進む道が自然と決まっていきました。今、振り返ってみると、このような専門分野の選択もあるのではないかと考えています。

赴任した国立療養所福井病院(現在のレイクヒルズ美方病院)に、血友病の患者さんが多く来院されていて、診療を始めたことがこの分野に進んだきっかけです。その後、血友病性関節症を専門に診て欲しいと医科学研究所の教授に声をかけていただいたのをきっかけに、ここで関節外科を開設し、診療や手術を始めました。

学生広報スタッフ募集中!

学生広報スタッフを募集しています。福井大学生なら誰でもOK! 広報誌の編集、ブログの作成に興味のある人、大歓迎です。希望する人は気軽に連絡してください。一緒に楽しく福井大学の魅力を発見して広めていきましょう。



文京と松岡でTV会議もするよ♪

福井大学広報室 Tel/0776-27-9733
E-mail/sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

【メールへの明記事項】

タイトル: 広報スタッフ応募

内容: 氏名、学部(研究科)学科(専攻)、学年、住所、携帯電話、E-mail、応募動機

※ご記入いただいた個人情報は学生広報スタッフの活動にのみ使用いたします。

ブログ「うらら@ふくだい」更新中



↓応募はこちらから



これなら簡単だね。みんなも挑戦してみよう! 僕へのスイーツも待ってるよ!

福井大学広報センター
マスコットキャラクター
「広福くん」



学生広報スタッフが作る

甘〜いスイーツ

学生広報スタッフがお送りするページ

We LOVE 福大 vol. 20

冬には甘〜いスイーツを食べる機会が増えますね。バレンタインやホワイトデーに手作りスイーツはどうですか? 今回は、簡単に作れるスイーツを学生広報スタッフが紹介します。男女問わずみんなで挑戦してみましょう(^^) /

パウンドケーキを作ります!

材料

薄力粉……………400g
砂糖……………400g
バター……………400g
卵……………8個
板チョコ……………2枚
牛乳……………少々



教)地域科学課程1年 吉村友初さん

1 材料はこちら



薄力粉、砂糖、バター、卵はすべて同じ分量です。

10分

2 混ぜ合わせる

温めた牛乳でチョコを溶かす。その他の材料を全部混ぜる。



チョコと生地の一部を混ぜ合わせ、チョコ生地を別に作るというです。

25分

3 型に入れる

生地を型に入れ、その後チョコ生地を型に入れる。



チョコ生地を入れた後に箸でゆっくり混ぜるのがポイント。

30分

4 焼く

170°Cのオーブンに入れて25〜35分ほど焼く。



オーブンは中段で焼くときれいに焼きあがります。

35分



Finish

60分

時間を置いて食べるとより美味しくなります!

ブラウニーを作ります!

材料

A チョコレート……………50g
B バター……………50g
C 卵……………1個
D グラニュー糖……………40g
E 薄力粉……………40g
F サワークリーム……………180ml
G 卵黄……………1個
H 粉糖……………40g



教)地域科学課程1年 齊藤実希さん

1 材料はこちら

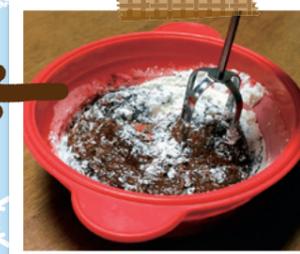


Let's start making Sweets!

5分

2 混ぜ合わせる

AとB、CとDをそれぞれ混ぜた後、Eを加えながら2つを混ぜる。



泡立て器を使うといい!

10分

3 重ねる

FGHを混ぜ、2の上に重ねる。

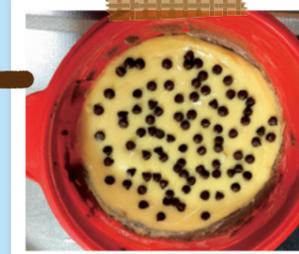


FGHをなめらかになるまで混ぜるといい!

20分

4 焼く

170°Cのオーブンで20分焼き、30分以上冷蔵庫で冷やす。



チョコチップをトッピング!

40分



Finish

70分

ブルーベリーやラズベリーをのせてもOK!

クレープを作ります!

材料(3〜4枚分)

薄力粉……………100g
卵……………1個
水……………300cc
チョコレート……………適量



教)地域科学課程4年 児玉幸司さん

1 材料はこちら



薄力粉はホットケーキミックスでもOKです!

5分

2 ポウルに入れる

薄力粉・卵水をポウルに入れます。



私は面倒なので薄力粉をふるいにかけてません(笑)

7分

3 混ぜ合わせる

2を混ぜ合わせて生地を作ります。



全体がクリーム色になればOKです(適当)。

10分

4 焼く

両面に少し焼き色がつくまでホットプレートで焼きます。



生地を入れてからプレートの温度を上げると薄く作れます。

15分



Finish

20分

今回はシンプルにチョコレートを適量に



福井大学基金

学生の皆さんへの修学支援のため、
福井大学基金へ多くのご厚意が寄せられています。
ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

今号では、平成27年9月12日から11月30日までの
寄附報告及びご寄附くださいました個人・法人・団体様で
掲載をご了承いただいた方のご芳名(50音順)を掲載させていただきます。
今後とも福井大学基金へより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

福井大学基金の寄附状況 (平成27年11月30日現在) 寄附申込数 1,533件(延べ数) / 寄附申込額 9,382万3,776円

個人

| | | | |
|---------|---------|---------|-----------------|
| 荒木 睦大 様 | 熊谷 敬一 様 | 中村 孝 様 | 水野 広治 様 |
| 板垣 美一 様 | 黒田 一樹 様 | 西沢 千秋 様 | 山口 忠男 様 |
| 伊藤五三郎 様 | 河野 光志 様 | 野坂 直樹 様 | 吉田 寿人 様 |
| 角谷 明博 様 | 河野 陽子 様 | 橋本 貴明 様 | ほか 匿名希望の方 7名 |
| 苅谷 泰弘 様 | 品川 明子 様 | 堀 幸雄 様 | |
| 川上 英男 様 | 高木 淳 様 | 堀内 英子 様 | |
| 久保田紀彦 様 | 中西 重裕 様 | 牧田 康弘 様 | |

法人・団体

| | |
|---------------------|--------------------|
| 医療法人うぶごえ 様 | 福井大学福応会 様 |
| せきおか整形外科 様 | 丸文通商株式会社 福井支店 様 |
| 福井大学医学部同窓会 白翁会 様 | 明成化学工業株式会社 様 |
| 福井大学工業会 様 | |

福井大学基金の詳細については、
福井大学HPをご覧ください。
<http://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>



福井大学基金についてのお問い合わせ先

福井大学基金事務局 〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1
TEL 0776-27-9903(ダイヤルイン) FAX 0776-27-8518
E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

学生生活応援!

学務部からのお知らせ

電子黒板を利用しよう!

総合図書館1階のメディアコモン内に、ひととき目立つ大きさ80インチの
つかいディスプレイがあるのをご存
知ですか?

これは、学生のグループ学習支援を
目的に、図書館で導入した電子黒板で
す。タッチパネルを採用していますの
で、気軽に画面にタッチして、誰でも自
由に使いこなすことができます。また、
「共同編集ソフト」を使えば、黒板に書
いた内容を自分のパソコンに取り込ん

だり、研究室、ゼミ単位、友達同士で集
まって、手持ちのタブレット端末やパ
ソコンを使っている情報共有ができま
す。参加者同士でワイワイガヤガヤと
活発な意見交換を行うことにより、や
る気と理解力の向上に役立ちます。
このように学生間のコミュニケー
ションを活性化させる便利な電子黒
板(タッチディスプレイ)をぜひとも活
用してくださいね。



どんどん使ってみよう

TOPICS 1

ノーベル賞受賞者・ 天野浩教授の講演を聞こう

天野浩
2014年ノーベル物理学賞受賞
2014年ノーベル物理学賞受賞者
天野浩 特別講演会
2014年ノーベル物理学賞受賞者
天野浩 特別講演会
2014年ノーベル物理学賞受賞者
天野浩 特別講演会

2月13日(土) 青色LEDに続く
未来へのメッセージ

入場無料

天野浩 特別講演会
2014年ノーベル物理学賞受賞者
天野浩 特別講演会
2014年ノーベル物理学賞受賞者
天野浩 特別講演会

2月13日(土)、「青色LEDに続く未来へのメッセージ」をテーマに、2014年のノーベル物理学賞を受賞した天野浩名古屋大学教授の講演会をフェニックスプラザ大ホールで開催します。教授は現在、本学大学院工学研究科電気・電子工学専攻葛原正明教授とともに、高効率で電力変換を行い、環境負荷の低減にもつながる窒化物半導体をパワーデバイスに応用する共同研究を行っています。研究秘話や、葛原教授との最先端研究についてお話しいただきます。

応募はこちらから



天野浩教授特別講演会 入場無料

テーマ| 青色LEDに続く未来へのメッセージ
日 時| 2016年2月13日(土)
14:30~16:30(受付開始14:00)
場 所| フェニックスプラザ 大ホール
(文京キャンパスより徒歩10分)

※ 事前申込みが必要です。
※ 申込み多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。
(1,500名先着・残り500名抽選)

TOPICS 2

松岡キャンパス 「カフェテリアAPLUM」と 「SHOP PLUM」が リニューアルオープン!



レーンが新設されたカフェテリアゾーン



広くなった「SHOP PLUM」店内



テーブル、椅子も新しくなり明るい印象

夏休み期間中に改装を行っていた松岡キャンパスの「カフェテリアAPLUM」と「SHOP PLUM」がリニューアルオープンしました。
「カフェテリアAPLUM」は、レーンが新設され、単品などが取りやすくなりました。内装も壁を茶系でコーディネートし、温かな印象。座席数も増え、同時により多くの人が利用できるようになりました。
また、「SHOP PLUM」は、店舗が広くなり、文具や生活用品などの品揃えが充実。カウンターサービスもより便利に使いやすくなりました。みなさん、もう利用しましたか?

次号特集に掲載するサークルを募集します!

4月号の特集は

サークル!サークル!サークル!

次号4月発刊のふくだいプレスは、新入生歓迎号として「サークル!サークル!サークル!」を特集し、文京キャンパス、松岡キャンパスの部活・サークルをご紹介します!新入生に大アピールしたい部・サークルの代表の方、QRコードからのご応募をお待ちしています。直接、広報室に来ていただくか、sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jpまで。サークル名、代表者氏名、連絡先、PRポイントを明記の上、お送りください。※応募者多数の場合は抽選とします。

新入生勧誘の
絶好のチャンス!



求ム、
大型新人!



編集後記

今回の表紙に登場した廣重さんが登るウォールの高さは9.2メートル、最大傾斜120度。3階建ての建物を登っているのに似た感覚です。写真には写っていませんが、実はお父様の敏さんが下でしっかりサポートしています。クライマーが安全に競技に集中できるよう、適切なロープの長さを保ち、墜落の危険から守るのがピレイヤーという補助者です。意外に支えている方が緊張しているかもしれませんね。

Editor's note

本冊子の感想を教えてください

広報誌「ふくだいプレス24号」を読んだ皆さんの感想を教えてください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で8名に「ムダが見える家計簿」を、2名に福袋をプレゼントします。



プレゼント

年の初めに、
お金の流れを考えて
みるきっかけに!

8名

[応募方法]
QRコードもしくはURLからご応募ください。
応募締め切り: 2月19日(金)
<http://www.u-fukui.ac.jp/m/>

文房具
福袋です。

2名

みなさまからのご応募、
お待ちしております!

ご記入いただいた個人情報は、
プレゼントの送付、及びお問い合わせ・
ご意見をいただいた際のご連絡に
使用させていただきます。



(実物とは異なる場合があります)

ふくだいプレス 第24号

発行日/平成28年1月 発行者/福井大学広報センター
TEL: 0776-27-9733 E-mail: sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp